

株式会社丸昇物産

小袋充填機等導入による 生産性向上と販売拡大

主力の「イカ墨（小袋タイプ・30g）」等を製造する小袋充填機が、経年劣化からトラブルが相次ぎ、生産性の低下が課題となっていた。新しい小袋充填機を導入後、生産性の向上、工場における作業の効率化、労働環境の改善に成功した。



導入した小袋充填機

課題

■ 古くなった小袋充填機のトラブルに悩まされる

事業のきっかけ

約15年前に中古で購入した充填機で、イカ墨小袋を製造していたが、ここ数年は機械調整に午前中いっぱいを経たり、やっと動いたかと思えば途端に故障してしまう等、トラブルが多発。いつ故障するかわからない状況での不安定な製造作業はスタッフの負担となっていた。その上、修理のために必要な部品の調達にも時間がかかり、最長で10日間も製造を停止せざるを得ないことも度々で、大きな課題となっていた。自社商品のニーズは年々高まっており、生産性の向上・新規市場の開拓を目指していくためにも、充填機を早急に切り替える必要に迫られていた。

成果

■ 機械の実働時間がアップし製造量が増加

事業の取り組み～成果

設備導入により故障の心配が一切なくなった。生産性の面では、機械の調整時間が大幅に短縮され1日の製造量が2000個増加。以前は月2～3回の充填作業が必要だったが、月1～1.5回で月製造数を達成できるようになり、生産性が向上した。これは労働の質の改善にもつながった。故障の度に発生した修繕費も抑えられ、削減分を人件費に充てることもできつつあり、好循環が生まれてきた。新しい充填機は液体の他ペースト等の粘度にも対応できる性能を持つ。イカ墨の他サイズ充填はじめ、様々な素材を充填できることが検証できており、今後の県産素材を活かした新商品開発に期待できそうだ。

展望

■ 新商品開発と販路拡大を目指す

今後の展望

導入した小袋充填機を活用し、県産素材をペーストにした商品を試作してみたが、手応え十分で今後の展開が楽しみだ。イカ墨を食べる沖縄のユニークな食文化は県外からの注目度も高い。自社商品の認知も年々高まっている実感があり、県外での販路拡大に期待が持てる。そのためには、水産品だけにこだわらず、海の物から山の物まで、様々な県産素材を活かした自社商品の開発に力を入れていく。課題は、製造現場で長年活躍する社員が高齢化してきていること。職人技といえる仕事を若手へ継承するには相当な時間が必要だが、焦らず時間をかけて、30年余のノウハウを受け継いでいきたい。



沖縄県産のソデイカをボイルした商品



新しい小袋充填機は、従来の30gサイズはもちろん100gサイズまで充填が可能だ

Q 御社の**モットー**を教えてください

A 「小さくてもメーカー」。小さな会社だからこそ皆でアイデアを出し合い、妥協のないものづくりを目指す！

専務取締役
與那覇 純也 さん

営業
平安山 秀太 さん

つむぐ × つなぐ

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

與那覇さんビジョン

当社の強みであるオリジナル商品の開発に一層チャレンジできる環境が整った。可能性のある県産素材を見極めて新商品の開発を進めたい。製造業は力仕事なので、正直キツイ時もある。だが、ゼロから商品を生み出す過程にはやりがいを感じられる。若い世代にもものづくりの魅力を伝えていきたい。

平安山さんビジョン

自社商品の品質には自信がある。県内はもちろん、今まで以上に県外へも積極的に発信し販路拡大を目指す。当社社長はアイデアが豊富で、見習うところが沢山ある。私もアイデア力と形にする力を高めながら、「小さくてもメーカー」の思いを後輩へつないでいきたい。若手の頑張りで社内を活気づける！

食品製造業

株式会社丸昇物産

〒901-0305
沖縄県糸満市西崎町 5-12-7
tel.098-852-3070 fax.098-994-0110



代表者名	代表取締役 與那覇 昇	設立	昭和55年5月
資本金	1,000万円	従業員数	18人